

序 文

長崎大学生涯学習叢書・第1集「地域と向き合う大学を考える」を刊行する運びになりました。本学では、平成元年より長崎大学公開講座叢書1-13集を刊行してきましたが、近年は生涯学習として青壮老年のどの世代の人々も大学の授業を受けられる時代になったことを受けて本書名を変更し、読者に親しみやすい内容にするよう企画しました。

さて、わが国では急速にグローバル化が進み、地域社会にも地球規模の課題の解決が迫られている現在、大学と地域社会との結合が21世紀の地域社会、日本そして地球の発展を支えるために必要な条件になっていると考えます。大学は社会の中の一員であり、地域に開かれた存在であることは勿論ですが、さらに地域社会そのものも大学のキャンパスと考えることができます。そして、地域を市町村や県単位に限定することなく、地球全体への拡がりがあることを常に認識しておくことが大切であります。地域社会には地球規模の問題が縮図として存在するのです。いわば、グローバルな問題のローカルな現場が地域なのです。Think globally, act locallyと言われる所似でもあります。そして地域で問題を解決して行くためには、知の拠点としての大学と問題を抱える地域とが問題を共有して共同して問題解決にあたることが重要です。そのためには大学の知の資源を生涯学習と連結することが必要です。そのことが、地域の大学の使命であり役割であろうと考えます。

地域の大学は地域社会に深く根ざしつつ、地域の発展を支えることを通じて地球の発展に貢献して行くべきです。

本集は、地域における大学の役割、使命を地域において具現化するための方策や提言をまとめたものであります。

終わりにあたり本書を企画された生涯学習教育研究センター運営委員会と執筆者各位に敬意を表しますとともに、刊行にご尽力くださった財務省印刷局に深く感謝します。

平成14年3月

長崎大学長 池田高良